

形質転換植物デザイン研究拠点

成果報告会

令和7年度

日時

令和8年3月6日(金)

場所

筑波大学総合研究A棟
110室(公開講義室)

タイムスケジュール

13:00-13:05	開会あいさつ 福田 直也【T-PIRCセンター長】
セッション1	座長 壽崎 拓哉
13:05-13:25	農業管理の転換がコーヒー根圏-果実間微生物動態に及ぼす影響 市橋 泰範【理化学研究所 環境資源科学研究センター】
13:25-13:45	窒素固定クレードにおける根粒共生の鍵転写因子の機能解析 壽崎 拓哉【筑波大学 つくば機能植物イノベーション研究センター】
13:45-14:05	根粒における空間的な遺伝子発現パターンの網羅的理解 伊藤 義晃【株式会社生物技研・解析部】
14:05-14:20	休憩
セッション2	座長 野中 聡子
14:20-14:40	高速型キメラミオシンXIの異種発現がトマトの 原形質流動と植物成長に与える影響 小原 惇【早稲田大学大学院・先進理工学研究科】 (富永 基樹【早稲田大学・教育・総合科学学術院】)
14:40-15:00	配偶子融合因子遺伝子のゲノム編集による種なしメロンの作出 井川 智子【千葉大学大学院・園芸学研究科】
15:00-15:20	トマト近縁野生種由来のSIKLP遺伝子の過剰発現による 果実サイズ制御機構の解明 池田 裕樹【宇都宮大学農学部】
15:20-15:40	シダ植物スギナにおける形質転換法の確立 加藤 大貴【愛媛大学・大学院理工学研究科】
15:40-15:55	休憩

セッション3	座長 福田 直也
15:55-16:15	人工キメラ酵素 Lac-CBD 導入形質転換ポプラの易酵素糖化性評価 小口 太一【筑波大学 つくば機能植物イノベーション研究センター】
16:15-16:35	トマトを利用した「非典型的」ストリゴラクトンの機能解析 瀬戸 義哉【明治大学農学部】
16:35-16:55	Possible roles of Micro-Tom genes for circadian clock, photoperiodic regulations, and ascorbate biosynthesis in tolerance to continuous light 溝口 剛【国際基督教大学】
16:55-17:00	閉会のあいさつ 柴 博史【T-PIRC副センター長】

事前参加登録不要

<https://gene.t-pirc.tsukuba.ac.jp>



つくば機能植物イノベーション研究センター
Tsukuba-Plant Innovation Research Center



筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター
形質転換植物デザイン研究拠点